

目下奥村君が休暇中で小林君もまた大学へ出られず私の手紙はつたせいで
お急ぎ(月曜day)連絡がつていません。しかしとにかく日本出版貿易株式
会社へ注文番号等を送れば Progress を海外へ送ることもできることであ
りました。これに湯川君の方へ注文が来たという読者の Name と Address を
送っていただけると、届くようになります。●~~と~~ ① 肉会せおあり
て即ち秋田屋編輯室へ直接注文していただく方が即ち下され。その
しつら ~~日本出版~~ 上記の会社に秋田屋から手紙をさせます。今迄200
部ほどの日本紙を通じて海外へ出ました。同社では商標として利益が
ある場合はあるようにしてほしいという希望を承けています。送るのには秋田屋
から直接にも、同社の利益を兼ねて同社から外へ出すと通
じ金を注文者から秋田屋へ貰うことのできるわけです。

つと早くこの論文の送りに申上げられたので、秋田屋の C.I.E. Library から 1月
9日(土) 休暇中のため、小倉の Oct 15 Phys. Rev. 刊した Letter の Page
をみることもできず、そのためにお詫言わして今日(土) 2日
明後 10日(月)に C.I.E. Library で Page をみることにし、この
手紙は月村に air mail で出します。

こちらにもこの出来のうちに急いで送らねば、いよいよしるわけが
うらたりました。相君らも送料として300円です。
手紙と論文を中にお成る即ち君から湯川君宛 air mail で送って
ておれらも着せられたと存じます。
今年印刷の準備がそろそろ。
即ち君のほかにいれたいです。

1949 Jan. 8 G. Araki
(二重化字宛)

本日奥村君に電話したところ、小林君にも日本出版貿易株式会社のことは
これに昨年12月に湯川君の方へ送る旨にわたるの Address が送ってある
が、その中で代金を費した人の名を湯川君から指定するにしろ
が、その他の人は以後代金を拂って購入してほしいという通知を出
す。何年上記の名を list して送り下す。みんな代金をもらって差支
り下すにしろ、 Jan. 10.

